

# シェルナースに生える海藻たち PART2

## 北の藻場（宮城）、南の藻場（長崎）

### 北の藻場（宮城県）

水深6～7m、沈設後11カ月

平成26年9月初旬、増殖場復興を目的に設置されたシェルナース2.2型の調査を行いました。

海藻が生える水深帯となるように改良した2.2型には、狙い通りアラメやコンブが上面・側面に繁茂し、幼体も生え、再生産が行われていました♪



2.2型（改良型）



美味しそう♪



### 南の藻場（長崎県）

水深2～4m、沈設後1年2カ月

新たな藻場礁として試験設置したシェルナースプラス1.0型、沈設後1年経過した調査では、マジリモク、キレバモクなどのホンダワラ類（ガラモ）が、周囲の天然藻場と同等以上の密度で見られました♪



アオリイカの卵も発見♪

なぜシェルナースにはこんなにも海藻が生えるのか？

- それは
- ① 胞子（種）がつきやすい！
  - ② 生えた海藻がはがれにくい！
  - ③ ウニ類の食害を受けにくい！
- からなのです！